

令和7年度 学校関係者評価報告書

(評価対象期間 令和6年度)

令和7年10月

岐阜県立衛生専門学校

1 学校関係者評価の実施方法及び公表について

学校関係者評価の実施にあたっては、令和7年7月17日に学校関係者評価委員会を開催しました。また、「令和6年度自己評価報告書」について説明し、評価結果に対するご意見をいただきました。多くの貴重なご意見やご指導に対し、感謝申し上げます。

評価結果は、本報告書として取りまとめ、今後の教育活動や学校運営の改善に活かし、それらの質の向上に努めるとともに、ホームページ等に公表します。

2 学校関係者評価委員

阿 部 馨 三 氏	岐阜県歯科医師会 理事
青 木 京 子 氏	岐阜県看護協会 会長
中 川 敬 三 氏	岐阜県教育委員会 教育次長
中 川 満紀子 氏	岐阜県健康福祉部 医療福祉連携推進課 看護対策監
藤 井 重 子 氏	卒業生
矢 部 友 美 氏	卒業生

3 評価結果

1) 評価項目ごとの評価点

評価項目	評価点
1 学校経営	4. 7
2 学科運営	4. 5
3 入学・卒業対策	4. 5
4 学生生活への支援	4. 3
5 教職員の育成	4. 3
6 管理運営・財政	4. 2
7 施設設備	3. 5
8 社会貢献・地域活動	3. 7

※評価点： よい…5、ややよい…4、普通…3、やや不十分…2、不十分…1

2) 評価項目ごとの評価・提言及び今後の手立て

別紙のとおり

3) 総評

全8項目に対し、委員による評価の平均値は、4.2（5段階評価）で、本学の学校運営、教育活動は、「ややよい」と評価をいただきました。昨年と比較して0.1ポイント低い結果でした。

項目別では、8項目中3項目が、昨年度より高い評価点、5項目が低い評価点となりました。「1 学校経営」「2 学科運営」「3 入学・卒業対策」「4 学生生活への支援」「5 教職員の育成」「6 管理運営・財政」は、いずれもマイナス0.1～プラス0.1ポイントの変化でしたが、「7 施設設備」はマイナス0.3ポイント、「8 社会貢献・地域活動」はマイナス0.6ポイントでした。

「1 学校経営」は、4.7ポイントで昨年度に引き続き8項目の中で最も高い評価でした。学校運営計画を全職員が共有し、学校運営評価を行うシステム作りが定着してきた成果を評価していただきました。

「2 学科運営」と「3 入学・卒業対策」は、4.5ポイントで昨年より0.1ポイント低い結果でした。「2 学科運営」については、学科運営計画に基づき、教員の授業力向上に取り組みつつ、教育課程の充実を図り、学生ひとり一人に目を向けたきめの細かい支援体制の構築に努めたことを評価していただきました。今後は、カリキュラム評価を促進しその結果を学科運営に活かしていきたいと考えています。また、「3 入学・卒業対策」については、2年連続で国家試験が全学科100%であったことを高く評価していただき、学生への丁寧なサポートの証であり、本校の強みとしてアピールできる成果であるとご意見をいただきました。そして、入学生の確保対策については、人材確保・就業支援対策部会によるガイダンス、学校訪問などの従来の取り組みに加え、SNSによる広報を取り入れるなどの入学生確保に向けた努力が評価されました。一方で、少子化の進展を見据えながら定員を検討していくことへの示唆をいただきましたので、引き続き、学生確保に向けて努力しつつ、定員数をどのように設定するかについて、主務課と連携を図り検討を進めていきたいと考えています。

「4 学生生活への支援」は、4.3ポイントで、昨年度より0.1ポイント高い結果となりました。こころの相談室の申し込み方法の工夫に加え、ストレスチェックを年に3回実施し、スクールカウンセラーの助言によりこころの相談室の利用を促すなど、学生にとって相談しやすい環境づくりへの取り組みを高く評価していただきました。

「5 教職員の育成」は、4.3ポイントで、昨年度より0.1ポイント高い結果でした。研修を計画的に受講する他、学科や学校を超えた授業参観に積極的に取り組み、授業参観後のリフレクションを大切にし、教育力向上に向けて活動したことが評価されました。

「6 管理運営・財政」は、4.2ポイントで、昨年度より0.1ポイント高い結果となりました。学生の意見を取り入れて、軽食を含めた自動販売機の設置や更衣室の整備などを改善しており、利用者目線から施設整備をしていることについて、高く評価をしていただきました。また、障害学生支援規程等の整備についても、今後重要性が増すことへの取り組みとして評価をしていただきました。しかし、学生アンケートの回

答率が下がった点については改善を図り、より多くの学生の意見が学校運営に反映できるようにすることや、防犯体制の強化の必要性について、今後の取り組むべき方向性についてご意見をいただきました。

「7 施設設備」は、3.5 ポイントで昨年度に引き続き 8 項目の中で最も低く、昨年度より 0.3 ポイント低い結果でした。指定規則に基づく施設設備や機械・器具は整っているものの、全体的な施設設備の老朽化への指摘や ICT 関連の設備整備や校務支援システムの効果的な運用に向けての期待が寄せられました。予算を確保し、現代の教育に必要な環境が整えられるよう努力していきたいと考えています。

「8 社会貢献・地域活動」は、3.7 ポイントで、昨年度より 0.6 ポイント低い結果でした。SNS を使った広報活動の工夫や、幼児、小学生、中学生、地域住民を対象にした出前授業について、高い評価をいただきました。また、ボランティア活動を通して地域とのつながりをつくることへの期待が寄せられましたので、引き続き、地域に密着した科目の展開や学生の主体的な活動につながるような働きかけを継続します。

今回の評価でいただいたご意見を踏まえ、早期に改善できることについては今年度中に対応を図りたいと考えます。また、中長期的な取り組みを要する事項については、検討の上、計画的に改善し、学校運営の向上に取り組んで参ります。